

6年間を見通した教科の指導計画（令和8年度入学生）

社会（地理歴史・公民）科

I 社会（地理歴史・公民）科の学習目標

◆地理的分野及び歴史的分野

- (1) 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、我が国と世界の歴史の展開や特色についての理解を深める。
- (2) 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、世界と日本の諸地域の生活や文化の特色についての理解を深める。
- (3) 地理や歴史の学習を通して、多面的・多角的に考察する力を育て、国際社会に主体的に関わろうとする態度を養う。
- (4) よりよい社会の実現を視野に、社会的課題を見だし、主体的に探究し解決しようとする態度を育てる。

◆公民分野

- (5) 広い視野に立って、現代社会について主体的に考察し、理解を深める。
- (6) 人間として望ましい在り方について学び、主体的に意義ある人生を送れるようにする。
- (7) 民主的、平和的な国家・社会の有為な形成者をめざす。
- (8) 政治的教養を高め、個人の尊厳を重んじ人格の完成をめざす実践的意欲を培う。

II 社会（地理歴史・公民）科の6年間の科目構成と学習内容

		「科目」と学習内容	発展的な内容、特色ある活動、関連する行事等
中学段階	1年	<ul style="list-style-type: none"> ◆地理的分野 <ul style="list-style-type: none"> ・世界と日本の地域構成 ・世界各地の人々の生活と環境 ・世界の諸地域 ◆歴史 <ul style="list-style-type: none"> ・原始と古代の日本 ・中世の日本 	<ul style="list-style-type: none"> ・「主題」とそれに基づく「問い」を立てたテーマ型の探究学習 ・世界の諸地域とそこに住む人々の暮らしについて認識を深める学習内容 ・SDGsを意識した課題解決型の授業の展開（貧困や環境問題など）。 ・言語能力を高める活動を入れた歴史学習 ・ノートの作り方指導
	2年	<ul style="list-style-type: none"> ◆地理的分野 <ul style="list-style-type: none"> ・地域調査の手法 ・日本の地域的特色と地域区分 ・日本の諸地域 ・地域の在り方 ◆歴史 <ul style="list-style-type: none"> ・中世の日本 ・近世の日本 ・近代の日本と世界 	<ul style="list-style-type: none"> ・「主題」とそれに基づく「問い」を立てたテーマ型の探究学習 ・日本の諸地域とそこに住む人々の暮らしについて認識を深める学習内容 ・SDGsを意識した課題解決型の授業の展開（地域の諸課題など）。 ・言語能力を高める活動を入れた歴史学習
	3年	<ul style="list-style-type: none"> ◆歴史 <ul style="list-style-type: none"> ・近代の日本と世界 ・二度の世界大戦と日本 ◆公民 <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会 ・人権の尊重と日本国憲法 ・国民主権と民主政治 ・私たちの暮らしと経済・国際社会 	<ul style="list-style-type: none"> ・史資料の読解 ・写真資料の読み取り ・地図の読み取り ・協同的論述課題学習 ・高校1年次「歴史総合」の内容を一部先取りし一体的に指導 ・社会問題についての討論 ・時事問題 ・高校2年次「公共」の内容を一部先取りし一体的に指導
高校段階	4年	《地理総合》【全員必修】 ・地図や地理情報システムで捉える現代世界 ・国際理解と国際協力 ・持続可能な地域づくりと私たち 《歴史総合》【全員必修】 「歴史の扉」、「近代化と私たち」、「国際秩序の変化や大衆化と私たち」、そして「グローバル化と私たち」の4項目から近現代の歴史を考察	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試問題の活用 ・図、表、写真資料の読み取り ・主体的、実践的な課題解決能力の育成 ・地理院地図やハザードマップ等の地理情報システム（GIS）を活用した地域の防災についての課題解決型学習
	5年	《地理探究》 系統地理的考察 《世界史探究》 文明の成立と古代文明の特質～イスラーム教の伝播と西アジアの動向 《日本史探究》日本文化のあけぼの～桃山文化 《公共》「公共の扉」、「自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち」、「持続可能な社会づくりの主体となる私たち」の項目ごとに現代社会の諸課題を捉え、他者との議論を通じて多面的・多角的に考察する。	<ul style="list-style-type: none"> ・地図の読み取り ・写真資料の読み取り ・世界史の中の日本史の展開 ・史資料の読解
	6年	《地理探究演習α》【文系必修選択】 系統地理の総復習・世界の諸地域・共通テスト問題演習 《世界史探究演習α》【文系必修選択】 ヨーロッパ世界の変容と展開～冷戦の終結と今日の世界 《日本史探究演習α》【文系必修選択】 幕藩体制の成立と展開～冷戦の終結と日本社会の変容 《地理探究演習β》【自由選択】 世界の諸地域 共通テスト問題演習（地歴・公民科2科目目選択者用） 《政治経済》【文系必修選択】 現代の経済～現代の国際政治 《倫理》【文系必修選択】 現代に生きる自己の課題～現代における諸課題の探究 《政治経済》【自由選択】 現代の経済～現代の国際政治	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試問題を活用した図・表・写真資料などの深い読み取り ・多面的、多角的な思考方法と社会的な見方、考え方 ・持続可能な社会を形成する個人としての社会参画意識

* 6年生の自由選択科目は受講希望者数によって変更があり得ます。

教科名 社会科

科目名 **地理・歴史**

対象 1学年全員

I 学習到達目標

- 1 社会に対する関心を高め、我が国の国土及び世界の諸地域と歴史の大きな流れへの理解を深める。
- 2 様々な資料を適切に活用して社会的事象を多面的・多角的に考察し、公正に判断し、適切に表現する力を養う。
- 3 よりよい社会の実現を視野に、社会的課題を見だし、主体的に探究し解決しようとする態度を養うとともに、我が国の伝統と文化の特色を広い視野から捉える力を育てる。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 一斉授業 2 グループワーク 3 討論

III 教科書・補助教材

教科書：（地理的分野）「中学生の地理」帝国書院 （歴史的分野）「中学歴史 日本と世界」山川出版社
 （地 図）「中学校社会科地図」帝国書院
 副教材：「アクティブ地理 総合」浜島書店 「グラフィックワイト歴史」東京法令出版
 「中学必修テキスト地理」文理 「新中学問題集 歴史 I」教育開発出版

IV 学習計画

学期	月	学 習 内 容			授業 時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容	副教材・その他の学習内容		
一 学 期	4	1 学期 中 考 査	◆地理的分野 世界の姿 P2～10	◆歴史的分野 第1章歴史との対話 P5～9 第2章古代までの日本 1節世界の諸文明 P16～25	◆地理的分野 アクティブ P2～11 必修テキスト P4～15 ◆歴史的分野 グラフィックワイト p2～35 iワーク p4～15	28
	5		日本の姿 P14～24 世界各地の人々と生活と環境 P26～41	2節日本文化のあけぼの P28～35	◆地理的分野 アクティブ P12～35 必修テキスト P16～41 ◆歴史的分野 グラフィックワイト p36～45 iワーク p16～33	
	6	1 学期 期 末 考 査				
	7					
	夏休み 宿 題		レポート等			
二 学 期	9	2 学期 中 間 考 査	世界の諸地域 ・アジア州 P46～61	3節律令国家の成立 P36～44 4節貴族政治と国風文化 P50～55	◆地理的分野 アクティブ P36～51 必修テキスト P42～55 ◆歴史的分野 グラフィックワイト p46～65 iワーク p34～57	25
	10		世界の諸地域 ・ヨーロッパ州 P64～77 ・アフリカ州 P80～89	第3章中世の日本 第1節中世社会の成立 P64～75	◆地理的分野 アクティブ P52～71 必修テキスト P56～71 ◆歴史的分野 グラフィックワイト p66～77 iワーク p58～69	
	10	2 学期 期 末 考 査				
	11					
	冬休み 宿 題 宿 題 テスト					
三 学 期	1	3 学期 学 年 末 考 査	世界の諸地域 ・北アメリカ州 P92～103 ・南アメリカ州 P106～115 ・オセアニア州 P118～125	2節武家社会の成長 P82～99	◆地理的分野 アクティブ P72～93 必修テキスト P72～93 ◆歴史的分野 グラフィックワイト p78～93 iワーク p70～99	36
	2					
	3					
					156	
評 価	各学期の評価・評定については、以下の評価材料を踏まえ、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の三つの観点から総合的に学習評価を行う。 ① 定期考査（各学期、年間5回） ② 確認テスト（単元に対応） ③ 提出物（宿題、ノート、課題など）					

教科名 社会科
 科目名 **地理・歴史**
 対象 2学年全員

I 学習到達目標

- 1 日本や世界の地域の諸事象を位置や空間的な広がりとの関わりで捉え、環境条件や人間の営みなどと関連づけて考察し、地域的特色を捉えるための視点や方法を身に付けるとともに、地方的特殊性と一般的共通性は諸条件の変化などに伴って変容していることを理解する。
- 2 様々な資料を適切に活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し、公正に判断するとともに、適切に表現する能力や態度を身につける。
- 3 歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解し、わが国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えるとともに、他民族の文化、生活などに関心を持ち、国際協調の精神を養う。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 一斉授業 2 グループワーク 3 討論

III 教科書・補助教材

教科書：（地理的分野）「中学生の地理」帝国書院 （歴史的分野）「中学歴史 日本と世界」山川出版社
 （地 図）「中学校社会科地図」帝国書院
 副教材：「アクティブ地理 総合」浜島書店 「グラフィックイット`歴史」東京法令出版
 「中学必修テキスト地理」文理 「新中学問題集 歴史 I」教育開発出版

IV 学習計画

	月	学 習 内 容			授業 時数	備考	
		考 査	「教科書」の学習内容	副教材・その他の学習内容			
一 学 期	4 5	1 学期 中 間 考 査	◆地理的分野 第1章 地域調査のしかた P128～139 第2章 日本の地域的特色 第1節～第3節 自然環境から見た日本の地域的特色 P140～151	◆歴史的分野 第4章 近世の日本 第2節近世社会の成立 P112～119 第3節幕藩体制の確立 P120～127	◆地理 アクティブ地理 該当ページ 必修テキスト P104～123 ◆歴史 グラフィックイット`p78～93 iワークP4～27	19	2年生総合テーマ「国内の地域間の違いを知る」の進行と関連付けながら多少の分野の入れ替えを行う。
	6 7	1 学期 期 末 考 査	第4節～第7節 統計資料から見た日本の地域的特色 P152～165	第4節幕藩体制の展開 P128～133 第5節幕藩体制の動揺 P136～147	◆地理 アクティブ地理 該当ページ 必修テキスト P124～143 ◆歴史 グラフィックイット`p78～93 iワークP28～39	32	
	夏休み		身近な地域調査（防災）、歴史に関するレポート				
二 学 期	9 10	2 学期 中 間 考 査	日本の諸地域 第1節 九州地方 P166～182 第2節 中国・四国地方 P183～198	第5章近代の日本と国際関係 第1節 欧米諸国の近代化と日本への接近 P156～165	◆地理 アクティブ地理 該当ページ 必修テキスト P144～155 ◆歴史 グラフィックイット`P78～93 iワークP46～51	30	日本人の生活や生活に社会の動き及び各地域の地理的条件、身近な地域の歴史とも関連付けて
	10 11 12	2 学期 期 末 考 査	第3節 近畿地方 P199～216 第4節 中部地方 P217～248 第5節 関東地方 P249～264	第2節 開国と幕末の動乱 P166～171 第3節 立憲国家への道 P172～189	◆地理 アクティブ地理 該当ページ 必修テキスト P156～175 ◆歴史 グラフィックイット`P78～93 iワークP52～75	39	指導する。博物館等の見学・調査を通じて、生活文化の展開を具体的に学ぶ事ができるようにする。
	冬休み						
三 学 期	1 2 3	3 学期 学 年 末 考 査	第6節 東北地方 P249～264 第7節 北海道地方 P265～281 第4章 地域のあり方 ・身近な地域調査 P283～293 (地形図の使い方を含む)	第4節 日清・日露戦争とアジア P190～199 第5節 近代日本の産業と文化 P202～209	◆地理 アクティブ地理 該当ページ 必修テキスト P176～191 ◆歴史 グラフィックイット`p78～93 iワークP76～87	36	
						156	
	評 価	学期毎の評価、学年末の評定については、以下の資料を用いて、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価を行う。 ①定期考査（各学期、年間5回）、 ②提出物（宿題・ノート、課題など） ① 学習の様子（授業参加態度、提出物状況、関心・意欲等）					

教科名 社会科
 科目名 公民・歴史
 対象 3学年全員

I 学習到達目標

- 1 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務の関係を広い視野から正しく認識させ、民主主義に関する理解を深めるとともに、平和で民主的な国家社会の形成者として必要な基礎的教養を培う。
- 2 民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり及び現代の社会生活などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、社会の諸問題に着目させ、自ら考えようとする態度を育てる。
- 3 国際的な相互依存関係の深まりの中で、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことが重要であることを認識させると共に、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることが大切であることを自覚させる。
- 4 現代の社会的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に収集、選択して多面的・多角的に考察し、事実を正確に捉え、公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。
- 5 現代の様々な政治・文化につながる近現代の歴史的事象について、時系列や因果関係を考えて多角的に理解する。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 一斉授業 2 グループワーク 3 討論

III 教科書・補助教材

教科書	(公民的分野) 「中学社会公民的分野」 日本文教出版	(歴史的分野) 「中学歴史 日本と世界」 山川出版社
副教材	(公民的分野) 「2026ズームアップ公共資料 新訂版」 実教出版 「新中学問題集 公民3年」 教育開発出版 「整理と対策社会」 明治図書	(歴史的分野) 「グラフィックイット歴史」とうほう 「iワーク歴史」 育伸社

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考			
		考 査	「教科書」の学習内容			副教材・その他の学習内容		
一 学 期	4	1 学期 中 間 考 査	◆公民的分野 第1章 私たちの暮らしと現代社会	◆歴史的分野 第5章 近代の日本と国際関係 4節 日清・日露戦争とアジア	22	「整理と対策社会」を年間通して行い、月1回をめぐりに提出や確認テストを行う。		
	5		1 私たちが生きる現代社会 2 現代につながる伝統と文化 3 私たちがつくるこれからの社会					
	6		1 学期 期 末 考 査	第2章 個人を尊重する日本国憲法 1 日本国憲法の成り立ちと国民主権 2 憲法が保障する基本的人権 3 私たちと平和主義			5節 近代日本の産業と文化	35
7	第3章 私たちの暮らしと民主政治 暮らしと政治の関わりを考えよう 1 民主政治と日本の政治 2 三権分立のしくみと私たちの政治参加 3 地方自治と住民の参加							
	夏休み							
二 学 期	9	2 学期 中 間 考 査	第4章 私たちの暮らしと経済 1 消費生活と経済活動 2 企業の生産のしくみと労働	第6章 二つの世界大戦と日本 1節 第一次世界大戦と日本 2節 国際協調の崩壊	36	◆公民 「公共資料集」該当ページ 「問題集」P68-102 ◆歴史 グラフィックイット P78～93 iワーク P88～99		
	10		2 学期 期 末 考 査	3 市場のしくみとはたらき 4 金融のしくみと財政の役割 第5章 安心して豊かに暮らせる社会 1 暮らしを支える社会保障 2 これからの日本経済の課題			3節 第2次世界大戦と日本	33
	11						◆公民 「公共資料集」該当ページ 「問題集」P102-132 ◆歴史 グラフィックイット P78～93 iワーク P112～117	
	12							
	冬休み							
三 学 期	1	3 学期 学 年 末 考 査	第6章 国際社会に生きる私たち 「持続不可能」から「持続可能」へ 1 国際社会の平和を旨として 2 国際社会が抱える課題と私たち 終章 私たちが未来の社会を築く 1 持続可能な未来の社会へ	第7章 現代の日本と世界 1節 戦後の日本と国際社会 2節 新たな時代の日本と世界	20	中学全範囲を対象とした到達度確認テストを行う。 ◆公民 「公共資料集」該当ページ 「問題集」P133-165 ◆歴史 グラフィックイット P78～93 iワーク P118～147		
					156			
評 価			学期毎の評価、学年末の評定については、以下の資料を用いて、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価を行う。 ①定期考査(各学期、年間5回)、②提出物(宿題・ノート、課題など) ③学習の様子(授業参加態度、提出物状況、関心・意欲等)					

教科名 地歴科
 科目名 **歴史総合** (必修2単位)
 対象 4学年全員

I 学習到達目標

- 1 18～19世紀、ヨーロッパや日本を中心に、どのように近代化したのか理解し、その特徴や差異を理解する。
- 2 二度の世界大戦は世界にどのような影響を及ぼしたのか、様々な視点から捉え理解する。
- 3 戦後の国際体制ではどのような課題があるか発見し、様々な視点から解決策を考える。
- 4 様々な資料をもとに、歴史を深く考察し、意見を共有しながら学びを深める。

II 授業の進め方 (授業形態等)

- 1 授業プリントを用いて知識を整理し、そこから自分の考えを書き、意見交換を行う。
- 2 必要に応じて発問や課題、小テスト、ノート提出などを求め、生徒の理解の定着を確認しつつ、授業を進めていく。
- 3 「考えること」を重視しつつ、確実な基礎学力を身につけ、知的欲求を啓発できるよう双方向対話型授業を展開する。

III 教科書・補助教材

教科書	「詳説歴史総合」実教出版
補助教材	「最新世界史図説 タペストリー」帝国書院 「ベストフィット 歴史総合」実教出版

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容 副教材・その他の学習内容		
一 学 期	4	1学期 中 間 考 査	第1編 近代化と私たち 第1章 近代化への胎動 第2章 欧米の市民革命と国民国家の形成	各教材の該当範囲	12
	5				
	6	1学期 期 末 考 査	第3章 アジアの変容と日本の近代化 第4章 帝国主義の展開とアジア	各教材の該当範囲	18
	7				
	夏休み 宿 題	宿 題 テスト			
二 学 期	9	2学期 中 間 考 査	第2編 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第5章 第一次世界大戦と大衆社会	各教材の該当範囲	14
	10				
	10	2学期 期 末 考 査	第6章 経済危機と第二次世界大戦	各教材の該当範囲	18
	11				
	冬休み 宿 題	宿 題 テスト			
三 学 期	1	3学期 学 年 末 考 査	第3編 グローバル化と私たち 第7章 冷戦と脱植民地化 第8章 多極化する世界 第9章 グローバル化と現代社会	各教材の該当範囲	16
	2				
					計 78 (2単位)
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・各学期期末考査の得点と、プリント、その他課題 (TeamsやForms) を評価の対象とする。 ・評価は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価 (ABC) と5段階の評定によって行う。 ・評価物はいずれも上記の観点別評価で行う。 				

教科名 地歴・公民科
 科目名 **地理総合** (必修2単位)
 対象 4学年全員

I 学習到達目標

- 1 日本及び世界の自然環境の学習を通して、環境と人間との関係性について考察する力を身に付ける。
- 2 世界で展開される人文・社会現象の学習を通じて、人類が築いてきた多様な文化と社会を考察する力を身に付ける。
- 3 地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

II 授業の進め方 (授業形態等)

- 1 教科書に準じたワークシートを中心に、視聴覚資料や板書を併用しながら授業を進めていく。
- 2 振り返りシート (オンラインアンケートフォーム) を活用し自己調整を行い、定期的に生徒の到達度を確認しながら、授業を進めていく。
- 3 「考えること」を重視しつつ、基礎学力を確実に身につけ、知的好奇心を高める主体的・対話的で深い学びを展開する。

III 教科書・補助教材

教科書：「地理総合 世界に学び地域へつなぐ 改訂版」 (山川出版社)
 「詳解現代地図」 (山川出版社)
 補助教材：新詳地理資料「COMPLETE 2026」 (帝国書院)、「地理統計Plus」 (帝国書院)

IV 学習計画

学期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容 副教材・その他の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題				
	4 5	1学期 中 間 考 査	第1章 地図とGISの活用 1 球面上の世界 (P14~35) 2 地図とGIS (P36~53)	新詳地理資料「COMPLETE」 P4~11	12
	6 7	1学期 期 末 考 査	第2章 地理的環境の特色 1 地形と生活文化 (P56~63) 2 気候と生活文化 (P68~83)	新詳地理資料「COMPLETE」 P214~221	18
	夏休み 宿 題	宿 題 テ ス ト	1学期の復習 地形図の読み取り		
二 学 期	9 10	2学期 中 間 考 査	第2章 地理的環境の特色 3 産業と生活文化 (P86~93) 4 宗教・言語と生活文化 (P94~99) 第3章 世界各地の生活文化 (P102~179)	新詳地理資料「COMPLETE」 P196~213	14
	10 11	2学期 期 末 考 査	第3章 世界各地の生活文化 (P102~179) 第4章 地球的課題と国際協力 (P182~213)	新詳地理資料「COMPLETE」 P222~227	18
	冬休み 宿 題	宿 題 テ ス ト			
三 学 期	1 2 3	3学期 学 年 末 考 査	第5章 生活圏の諸課題 1 日本の自然環境と防災 (P216~239) 2 生活圏の諸課題と地域調査 (P240~249)	新詳地理資料「COMPLETE」 P12~35	16
				計 78 (2単位)	
評 価					<ul style="list-style-type: none"> ・ 知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3つの観点から評価規準に従い総合的に評価する。 ・ 定期考査の得点と課題 (コラボレーションプラットフォーム)、振り返りシート (オンラインアンケートフォーム) を学習評価の対象とする。 ・ 「ここにこれがあるのはなぜだろう？」という問いを常にもち、学習にのぞんでほしい。また、テレビや新聞などを通して、最新の世界情勢に触れることも大切である。

教科名 地歴科
 科目名 日本史探究 (必修選択2単位)
 対象 5学年選択者

I 学習到達目標

- 1 原始・古代から中世前期までの日本史を学習し、歴史的な見方・考え方を身につける。
- 2 史資料の読み取りや問いに対する論述に取り組むことで、日本史を多面的・多角的に考察する姿勢や表現力を養う。
- 3 地理的・世界史的な分析を進めることで、日本と世界との関わりについて理解や考察を深める。

II 授業の進め方 (授業形態等)

- 1 教科書に準じたプリントを中心に、プロジェクト資料や板書を併用しながら授業をすすめていく。
- 2 必要に応じて発問や課題、ノート提出などを求め、生徒の理解の定着を確認しつつ、授業を進めていく。
- 3 探究課題については、小グループによる協同学習などを行う。

III 教科書・補助教材

教科書：『詳説 日本史』 (山川出版社)
 副教材：『新詳 日本史』 (浜島書店)、『詳録 新日本史史料集成』 (第一学習社)、『日本史B用語集』 (山川出版社)、
 『日本史重要語句チェックリスト』 (啓隆社)

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容 副教材・その他の学習内容		
一 学 期	春休み				
	4	1 学期 中 間 考 査	第1章 日本文化のあけぼの 1 文化の始まり 2 農耕社会の成立	各教材の該当範囲	12
	5		第2章 古墳とヤマト政権 1 古墳文化の展開		
6	1 学期 期 末 考 査	2 飛鳥の朝廷	各教材の該当範囲	18	
7		第3章 律令国家の形成 1 律令国家への道 2 平城京の時代 3 律令国家の文化 4 律令国家の変容			
二 学 期	夏休み				
	9	2 学期 中 間 考 査	第4章 貴族政治の展開 1 摂関政治 2 国風文化 3 地方政治の展開と武士	各教材の該当範囲	14
	10		第5章 院政と武士の躍進 1 院政の始まり 2 院政と平氏政権		
10	2 学期 期 末 考 査	第6章 武家政権の成立 1 鎌倉幕府の成立 2 武士の社会 3 モンゴル襲来と幕府の衰退 4 鎌倉文化	各教材の該当範囲	18	
11		第7章 武家社会の成長 1 室町幕府の成立 2 幕府の衰退と庶民の台頭			
三 学 期	冬休み				
	1	3 学期 学 年 末 考 査	3 室町文化 4 戦国大名の登場	各教材の該当範囲	16
2	第8章 近世の幕開け 1 織豊政権 2 桃山文化				
				計 78 (2単位)	
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・各学期期末考査の得点とノート、プリント、その他課題の提出状況を評価の対象とする。 ・評価は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価 (ABC) と5段階の評定によって行う。 ・評価物はいずれも上記の観点別評価で行う。 				

教科名 地歴科
 科目名 **世界史探究** (必修選択2単位)
 対象 5学年選択者

I 学習到達目標

- 1 先史時代からイスラームの伝播までの世界史を学習し、歴史的な見方・考え方を身につける。
- 2 史資料の読み取りや問いに対する論述に取り組むことで、世界史を多面的・多角的に考察する姿勢や表現力を養う。
- 3 地理的・世界史的な分析を進めることで、日本と世界との関わりについて理解や考察を深める。

II 授業の進め方 (授業形態等)

- 1 教科書に準じたプリントを中心に、プロジェクト資料や板書を併用しながら授業をすすめていく。
- 2 必要に応じて発問や課題、ノート提出などを求め、生徒の理解の定着を確認しつつ、授業を進めていく。
- 3 歴史総合で培った基礎力を演習や諸課題に生かす実践力を重視し、知的欲求を啓発できるよう双方向対話型授業を展開する。

III 教科書・補助教材

教科書：『詳説世界史』（山川出版社）
 副教材：『最新世界史図説タペストリー』（帝国書院）、『世界史探究マスター問題集』（山川出版社）、
 『世界史用語集』（山川出版社）

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容 副教材・その他の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題				
	4 5	1 学期 中 間 考 査	第1章 文明の成立と古代文明の特質 1 文明の誕生 2 古代オリエント文明とその周辺 3 南アジアの古代文明 p18~30	・最新世界史図説タペストリー ・世界史探究マスター問題集 ・世界史用語集 それぞれの該当範囲	12
	6 7	1 学期 期 末 考 査	4 中国の古代文明 5 南北アメリカ文明 第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 1 中央ユーラシアー草原とオアシスの世界 2 秦・漢帝国 3 中国の動乱と変容 4 東アジア文化圏の形成 p30~53	・最新世界史図説タペストリー ・世界史探究マスター問題集 ・世界史用語集 それぞれの該当範囲	18
	夏休み 宿 題	宿 題 テ ス ト			
二 学 期	9 10	2 学期 中 間 考 査	第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 1 仏教の成立と南アジアの統一国家 2 インド古典文化とヒンドゥー教の成立 3 東南アジア世界の形成と展開 第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成 1 イラン諸国家の攻防とイラン文明 p54~65	・最新世界史図説タペストリー ・世界史探究マスター問題集 ・世界史用語集 それぞれの該当範囲	14
	10 11	2 学期 期 末 考 査	2 ギリシア人の都市国家 3 ローマと地中海支配 4 キリスト教の成立と発展 p66~84	・最新世界史図説タペストリー ・世界史探究マスター問題集 ・世界史用語集 それぞれの該当範囲	18
	冬休み 宿 題	宿 題 テ ス ト			
三 学 期	1 2	3 学期 学 年 末 考 査	第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 1 アラブの大征服とイスラーム政権の成立 2 ヨーロッパ世界の形成 第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向 1 イスラーム教の諸地域への伝播 2 西アジアの動向 p85~116	・最新世界史図説タペストリー ・世界史探究マスター問題集 ・世界史用語集 それぞれの該当範囲	16
					計 78 (2単位)
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・各学期期末考査の得点とノート、プリント、その他課題の提出状況を評価の対象とする。 ・評価は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価（ABC）と5段階の評定によって行う。 ・評価物はいずれも上記の観点別評価で行う。 				

教科名 地歴科
 科目名 **地理探究** (必修選択 2 単位)
 対象 5 学年選択者

I 学習到達目標

- 1 地理的な諸事象の空間的な規則性、傾向性や関連する課題の要因を捉えることにより、現代世界の諸事象の地理的認識と系統地理的な考察の手法を身につける。
- 2 諸地域の地域性と諸課題を捉える学習を通して現代世界の諸地域を地誌的に考察する方法を身につける。
- 3 持続可能な国土像を探究する。

II 授業の進め方 (授業形態等)

- 1 教科書に準じたプリントを中心に、プレゼンテーション資料や板書を併用しながら授業をすすめていく。
- 2 必要に応じて発問や課題、小テスト、ノート提出などを求め、生徒の理解の定着を確認しつつ、授業を進めていく。
- 3 地理総合で培った基礎力を演習や諸課題解決に生かす実践力を重視し、知的欲求を啓発できるよう双方向対話型授業を展開する。

III 教科書・補助教材

教科書 「地理探究」 二宮書店 「新詳高等地図」 帝国書院
 補助教材 「地理統計Plus」 帝国書院 新詳地理資料「COMPLETE 2025」 帝国書院
 「大学入学共通テストへの道 地理」 山川出版社

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題				
	4 5	1 学期 中 間 考 査	第1編 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境[地形・気候・植生・土壌] P8~41	新詳地理資料「COMPLETE」 P12~45、64~65 「地理統計Plus」 帝国書院	14
	6 7	1 学期 期 末 考 査	第1編 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境[世界各地の自然・生活] [日本の自然環境と防災] [地球環境問題] P42~73	新詳地理資料「COMPLETE」 P46~63 P66~75 P76~85 「地理統計Plus」 帝国書院	16
	夏休み 宿 題	宿 題 テ ス ト	1 学期の復習 地域区分・地図とGISの理解		
二 学 期	9 10	2 学期 中 間 考 査	第1編 現代世界の系統地理的考察 第2章 資源と産業 P74~121	新詳地理資料「COMPLETE」 P86~184 「地理統計Plus」 帝国書院	18
	10 11	2 学期 期 末 考 査	第1編 現代世界の系統地理的考察 第3章 人・モノ・金のつながり P122~141 第4章 人口・村落・都市 P142~165	新詳地理資料「COMPLETE」 P185~197 P198~217 「地理統計Plus」 帝国書院	12
	冬休み 宿 題	宿 題 テ ス ト			
三 学 期	1 2	3 学期 学 年 末 考 査	第1編 現代世界の系統地理的考察 第5章 文化と国家 P166~189	新詳地理資料「COMPLETE」 P218~231 「地理統計Plus」 帝国書院	18
				計 78 (2単位)	
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・各学期期末考査の得点とノート、プリント、その他課題を評価の対象とする。 ・評価は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価（ABC）と5段階の評定によって行う。 ・評価物はいずれも上記の観点別評価で行う。 				

教科名 公民科
 科目名 **公共（必修2単位）**
 対象 5学年全員

I 学習到達目標

- 1 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念とともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。
- 2 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- 3 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民民主権をになう公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 現代の諸課題を捉える視点や枠組み、基本的な概念の理解を図る。
- 2 一斉授業、グループ学習、発表などの学習活動を行い、ものごとを多面的・多角的に考察し、公正に判断する力を養う。
- 3 資料から適切な情報を選択し、課題を追究する活動、レポート作成や発表活動を行い、課題追究の方法を身につける。

III 教科書・補助教材

教科書 「公共」東京書籍
 補助教材 「2026ズームアップ公共資料」実教出版 「4ステージ演習ノート 公共」数研出版

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容 副教材・その他の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題	宿 題 テスト			
	4 5	1 学期 中 間 考 査	第1部「公共」のとびら 第1章 公共的な空間をつくる私たち—社会のなかの自己 第2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方 第3章 公共的な空間における基本的原理	(1) 問題集 p. 2-35 (2) 資料集 p. 10-125	12
	6 7	1 学期 期 末 考 査	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第1章 民主政治と私たち 第2章 法の働きと私たち テーマ1 法の規範の意義と役割	(1) 問題集 p. 36-85 (2) 資料集 p. 126-169	18
	夏休み 宿 題	宿 題 テスト	現代の諸課題をめぐるミニレポート		
二 学 期	9 10	2 学期 中 間 考 査	第2章 法の働きと私たち テーマ2 市民生活と司法 テーマ3 国民の司法参加 第3章 経済社会で生きる私たち	(1) 問題集 p. 86-109 (2) 資料集 p. 138-145, 170-242, 266-269	14
	10 11	2 学期 期 末 考 査	第4章 私たちの職業生活 第5章 国際社会のなかで生きる私たち（前半） テーマ1 国際社会のルールとしくみ テーマ2 国際社会と平和主義	(1) 問題集 p. 110-149 (2) 資料集 p. 250-265, 281-295	18
	冬休み 宿 題	宿 題 テスト	現代の諸課題をめぐるミニレポート		
三 学 期	1 2	3 学期 学 年 末 考 査	第5章 国際社会のなかで生きる私たち（後半） テーマ3 国際平和への課題 テーマ4 グローバル化する国際経済 第3部 持続可能な社会づくりに参画するために	(1) 問題集 p. 150-175 (2) 資料集 p. 296-347	16
				計 78 (2単位)	
評 価	各学期の定期考査、及び学習活動の様子や発表、討論、論述の内容、授業についてのリアクションペーパー、ミニレポート（不定期）、現代の諸課題を探究するレポートを評価の対象とし、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の各観点から評価を行う。				

教科名 地歴科

科目名 日本史探究演習α (必修選択6単位)

対象 6学年選択者

I 学習到達目標

- 1 中世後期から現代までの日本史を学習し、歴史的な見方・考え方を身につける。
- 2 史資料の読み取りや問いに対する論述に取り組むことで、日本史を多面的・多角的に考察する姿勢や表現力を養う。
- 3 地理的・世界史的な分析を進めることで、日本と世界との関わりについて理解や考察を深める。

II 授業の進め方 (授業形態等)

- 1 教科書に準じたプリントを中心に、プロジェクト資料や板書を併用しながら授業を進めていく。
- 2 必要に応じて発問や課題、ノート提出などを求め、生徒の理解の定着を確認しつつ、授業を進めていく。
- 3 探究課題については、小グループによる協同学習などを行う。

III 教科書・補助教材

教科書：『詳説 日本史』(山川出版社)

副教材：『新詳 日本史』(浜島書店)、『詳録 新日本史史料集成』(第一学習社)、『日本史B用語集』(山川出版社)、
『日本史重要語句チェックリスト』(啓隆社)

IV 学習計画

学期	月	学 習 内 容		授業 時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容 副教材・ その他の学習内容		
一 学 期	春休み				
	4 5	1 学期 中 間 考 査	第9章 幕藩体制の成立と展開 1 幕藩体制の成立 2 幕藩社会の構造 3 幕政の安定 4 経済の発展 5 元禄文化 第10章 幕藩体制の動揺 1 幕政の改革 2 宝暦・天明期の文化 3 幕府の衰退と近代への道 4 化政文化 第11章 近世から近代へ 1 開国と幕末の動乱 2 幕府の滅亡と新政府の発足	各教材の該当範囲	42
	6 7	1 学期 期 末 考 査	第12章 近代国家の成立 1 明治維新と富国強兵 2 立憲国家の成立 第13章 近代国家の展開 1 日清・日露戦争と国際関係 2 第一次世界大戦と日本 3 ワシントン体制 第14章 近代産業と生活 1 近代産業の発展 2 近代文化の発達 3 市民生活の変容と大衆文化 第15章 恐慌と第二次世界大戦 1 恐慌の時代 2 軍部の台頭 3 第二次世界大戦	各教材の該当範囲	54
	夏休み		夏期講習 日本古代史演習 日本中世史演習 日本近世史演習 等		
二 学 期	9 10	2 学期 中 間 考 査	第16章 占領下の日本 1 占領と改革 2 冷戦の開始と講和 第17章 高度成長の時代 1 55年体制 2 経済復興から高度経済成長へ 第18章 1 経済大国への道 2 冷戦の終結と日本社会の変容	各教材の該当範囲	42
	10 11	2 学期 期 末 考 査	通史・テーマ史演習 琉球・蝦夷地史 土地制度史 貨幣制度史 貿易史 教育史 宗教史 美術史 等 共通テスト演習 歴史総合・世界史分野の復習	各教材の該当範囲 大学入試論述問題 対策演習	54
	冬休み				
三 学 期	1 2	3 学期 学 年 末 考 査	(大学入試共通テスト) (私大入試) (国公立入試)	各教材の該当範囲 大学入試論述問題 対策演習	42
					計 234 (6単位)
評 価					・各学期期末考査の得点とノート、プリント、小テスト、その他課題の提出状況を評価の対象とする。 ・評価は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価(ABC)と5段階の評定によって行う。 ・評価物はいずれも上記の観点別評価で行う。

教科名 地理歴史科
 科目名 **世界史探究演習α** (必修選択6単位)
 対象 6学年文系 選択者

I 学習到達目標

- 1 人類の古代史が諸地域の自然環境や各地域間の交渉・交易を通して形成されていく過程を学習する。具体的には西アジアと地中海一帯の関わりとその特質、南アジアと東南アジア地域、東アジアと内陸アジア地域であるが、東アジア史においては特に日本との関わりに留意する。
- 2 ユーラシアの海域や内陸アジア史をネットワークという視点で、イスラーム国家のあり方や中国の朝貢、冊封体制を理解するとともにアジア諸国家の繁栄とその変容についても学ぶ。
- 3 第二次世界大戦後の世界における課題や日本のありかたを環境やエネルギー問題も視野にいれて歴史に学ぶ態度を育てる。

II 授業の進め方 (授業形態等)

- 1 授業に即したワークシートを使用しながら、授業を進める。
- 2 必要に応じて発問、課題・ノート提出等をもとめ知識の定着を図り、定期考査では実践的な問題にあたる。
- 3 歴史の縦と横の軸を常に意識ながら学習を進めるために補講や講習を実施する。

III 教科書・補助教材

教科書	『詳説世界史』 山川出版社		
補助教材	『最新世界史図説タペストリー』 (帝国書院)	『世界史用語集』 (山川出版社)	
	『世界史探究マスター問題集』 (山川出版社)	大学入試共通テスト実戦問題パックV世界史探究 (駿台文庫)	

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容		
一 学 期	春休み	宿 題			
	宿 題	テス			
	4	1 学期	第Ⅱ部 諸地域の交流・再編 第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開 p117～136 第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 p137～149 第9章 大交易・大交流の時代 p150～161	タペストリー マスター問題集 該当範囲	36
	5	中 間 考 査			
一 学 期	6	1 学期	第10章 アジアの諸帝国の繁栄 p162～175 第11章 近代世界の動向 p176～202	タペストリー マスター問題集 該当範囲	54
	7	期 末 考 査	第Ⅲ部 諸地域の結合・変容 第12章産業革命と環大西洋革命 p206～219		
	夏休み	宿 題	夏期講習 第13章 イギリスの優位性と欧米国民国家の形成 p220～241 第14章 アジア諸地域の動揺 p242～257		
二 学 期	9	2 学期	第15章 帝国主義とアジアの民族運動 p258～277 第16章 第一次世界大戦と世界の変容 p278～299 第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 p300～321	タペストリー マスター問題集 該当範囲	42
	10	中 間 考 査			
	10	2 学期	第Ⅳ部 地球世界の課題 第18章 冷戦と第三世界の台頭 p324～338 第19章 冷戦の終結と今日の世界 p339～363	タペストリー マスター問題集 該当範囲 過去問による演習	54
	11	期 末 考 査	共通テスト・入試問題演習		
三 学 期	12				
	冬休み	宿 題			
	宿 題	テス			
三 学 期	1	3 学期	共通テスト直前対策	過去問による演習	48
	2	学 年 末	大学別入試対策と論述指導		
	3	考 査			
				計234 (6単位)	
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・各学期期末考査の得点とノート、プリント、その他課題の提出状況を評価の対象とする。 ・評価は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価 (ABC) と5段階の評定によって行う。 ・評価物はいずれも上記の観点別評価で行う。 				

教科名 地歴科
 科目名 地理探究演習α（必修選択6単位）
 対象 6学年 選択者

I 学習到達目標

- 1 5年次に学習した「系統地理学」を基礎として、演習を通じて応用力を習得する。
- 2 世界で展開される人文現象の学習を通じて大学入試に必要な「人文地理学」の基礎学力を習得する。
- 3 世界を「地域区分」し、各地域の特色を考察する「地誌」の深い理解を得る。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 「考えること」を重視しつつ、5年次に学習した知識の上に応用力を身につけさせる。
- 2 教科書と補助教材に加えて様々な資料を活用して、複眼的に世界をとらえる能力を身につけさせる。
- 3 大学入試に必要な知識・技能を講義と様々な演習を通して身につけさせる。

III 教科書・補助教材

教科書 「地理探究」二宮書店 「新詳高等地図」帝国書院
 補助教材 「地理統計Plus」帝国書院 新詳地理資料「COMPLETE 2024」帝国書院
 「大学入学共通テストへの道 地理」山川出版社 「地理統計要覧2026年版」二宮書店

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考	
		考 査	「教科書」の学習内容			
一 学 期	4	1学期 中 間 考 査	第1章 自然環境「世界の地形」 大地形・小地形 P8～22	第1章 地域区分 P190～195 第2章 東アジア P196～229 東南アジア 南アジア	36	
	5		地理情報と地図「地図の種類とその利用」 【地理総合の復習】			
	6	1学期 期 末 考 査	「世界の気候」気候の成り立ち・世界の気候区分 P30～54 「日本の自然災害と防災」 P58～62 「環境問題」 P64～72 「世界の農林水産業」 P74～90	第2章 西アジア・中央アジア P196～229 アフリカ P238～244	54	
	夏 期 講 習		演習「自然環境」「農林水産業」「エネルギー・鉱工業」「人口・都市」「宗教・人種・民族」「貿易・観光・交通」			
二 学 期	9	2学期 中 間 考 査	第1編 現代世界の系統地理的考察 「資源と産業」 P90～121 「人・モノ・金のつながり」 P122～141	第2章 ヨーロッパ P248～262 アングロアメリカ P264～270	42	
	10					
	10	2学期 期 末 考 査	「人口・村落・都市」 P142～165 「文化と国家」 P166～189 「日本地誌」【地理総合の復習】 「両極地方」 P186～187 問題演習	第2章 ラテンアメリカ P272～280 オセアニア P282～290 日本地誌・GIS P294～314 弱点分野の問題演習	54	
三 学 期	1	3学期 学 年 末 考 査	系統地理と地誌のまとめ 問題演習	過去問題による演習	48	
	2					
	3					
				計 234 (6単位)		
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・各学期期末考査の得点とノート、プリント、その他課題を評価の対象とする。 ・評価は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価（ABC）と5段階の評定によって行う。 ・評価物はいずれも上記の観点別評価で行う。 					

教科名 公民科
 科目名 **政治経済** (必修選択)
 対象 6学年 選択者

I 学習到達目標

- 1 民主政治の基本原理とその重要性を理解し、現在における民主政治の課題を追究し考察できる力を培う。
- 2 日本国憲法を尊重し、よりよい国家・社会の形成者として行動するための公民的資質を養う。
- 3 日本の政治のしくみや現代政治の諸課題を理解し、日本国民としての責任と自覚に対する認識を深める。
- 4 現代社会の諸課題(国際政治・国際経済)についての問題意識を高め、論理的な解決方法を思索できる思考力を培う。

II 授業の進め方 (授業形態等)

- 1 政治や経済の基礎的事項・概念・理論に対する理解を、講義・協働学習・演習により定着・深化させる。
- 2 政治や経済にかかわる現代の諸課題について、知識・概念・理論を活用して論理的に思考する力を養うため、単元ごとの課題学習 (ミニレポート) に課す。
- 3 経済分野の学習を先に行う。政治分野については2学期以降に学習するが、夏期講習において先取りの講習を行う。

III 教科書・補助教材

教科書 「高校政治・経済」実教出版
 補助教材「最新政治・経済資料集 2026」第一学習社
 補助教材「チェック&演習公共、政治経済」数研出版

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容 副教材・その他の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題	宿 題 テスト	なし		
	4	1 学期 中 間 考 査	第2編 現代日本の経済 第1章 「経済社会の変容」 P82～89 第2章 「現代経済のしくみ」 P90～121	資料集: P124～192 問題集や配付プリントによる問題演習	12
	5		第3章 「現代経済と福祉の向上」 P122～173 第2部 グローバル化する国際社会の諸課題 第2章 「世界経済と日本」 P202～235	資料集: P193～251, 322～371 問題集や配付プリントによる問題演習	18
	6	1 学期 期 末 考 査			
7					
	夏休み 宿 題	宿 題 テスト	・共通テスト対策中心の夏期講習を行う。		
二 学 期	9	2 学期 中 間 考 査	第1編 現代の政治 第1章 「民主政治の基本原理」 P6～21 第2章 「日本国憲法の基本的性格」 P22～49	資料集:P4～74 問題集や配付プリントによる問題演習	12
	10		第3章 「日本の政治機構」 P50～69 第4章 「現代日本の政治」 P70～81 第2部 グローバル化する国際社会の諸課題 第1章 「現代の国際政治」 P174～235 第3章 「国際社会の諸課題の探究」 P236～247	資料集:P75～123, 252～231 問題集や配付プリントによる問題演習	18
	10 11 12				
	冬休み 宿 題	宿 題 テスト	なし		
三 学 期	1	3 学期 学 年 末 考 査	総合演習(過去問など)	センター試験・共通テストの過去問及び分析に基づいた予想問資料集全般	18
	2				
	3				
				計 78 (2単位)	
評 価	<ol style="list-style-type: none"> 1 各学期考査を基本として、プリント提出、作業課題などを加味したものが評価の対象となる。 2 評価は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価 (ABC) と5段階の評定によって行う。 3 評価物はいずれも上記の観点別評価で行う。 				

教科名 公民科
 科目名 **倫理** (必修選択)
 対象 6学年 選択者

I 学習到達目標

- 1 人間の在り方生き方を主体(自己)との関わりから考えることができる。
- 2 自らの体験や悩みを振り返ることから課題を見いだし、それに基づいて青年期の意義と課題を多面的・多角的に考察し、豊かな自己形成に向けて探究できる。
- 3 人間としての在り方生き方について、代表的な先哲の思想や芸術家とその作品を手掛かりとして主体的かつ公正に判断できる。
- 4 日本にみられる人間観・自然観・宗教観などの特質について、自己形成の課題とつなげて、多面的・多角的に考察できる。
- 5 「人間の尊厳と生命への畏敬」や「自然と科学技術と人間とのかかわり」について人格形成に寄与する知識として身につけている。
- 6 現代の諸事象について、倫理的視点から主体的に課題を見いだし、探究できる。

II 授業の進め方(授業形態等)

- 1 倫理にかかわる基礎的事項・概念・理論に対する理解を、講義・協働学習・演習により定着・深化させる。
- 2 倫理にかかわる現代の諸課題について、知識・概念・理論を活用して論理的に思考する力を養うため、單元ごとの課題学習(ミニレポート)に課す。
- 3 源流思想・西洋思想の学習を先に行う。日本思想・青年期・現代の倫理的課題については夏期講習で学習の先取りを行う。

III 教科書・補助教材

教科書：「新倫理 改訂版」清水書院
 補助教材：「最新図説 倫理」浜島書店
 補助教材：「4ステージ演習ノート 倫理」数研出版

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容 副教材・その他の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題	宿 題 テスト	なし		
	4 5	1 学期 中 間 考 査	第1編 現代に生きる自己の課題 序章 人間とは何か 第1章 個性的な主体としての自己 第2章 心と行動をめぐる探究 第2編 人間としての自覚 第1章 哲学の始原：ギリシア思想	資料集：P10～22, 24～40 問題集：左記内容の該当ページ 配付プリントによる問題演習	12
	6 7	1 学期 期 末 考 査	第2章 唯一神の宗教：キリスト教・イスラーム 第3章 東洋思想の源流：仏教・儒教 第4章 芸術と倫理 第3編 現代をかたちづくる倫理 第1章 近代の成立	資料集：P41～84, 問題集：左記内容の該当ページ 配付プリントによる問題演習	18
	夏休み 宿 題	宿 題 テスト	・共通テスト対策中心の夏期講習を行う。		
二 学 期	9 10	2 学期 中 間 考 査	第2章 世界と人間をめぐる探究 第4編 国際社会に生きる日本人としての自覚 第1章 日本の風土と精神文化 第2章 日本の近代化と人々の生き方	資料集：P85～179, 202～271 問題集：左記内容の該当ページ 配付プリントによる問題演習	12
	10 11 12	2 学期 期 末 考 査	第5編 現代における諸課題の探究 第1章 自然や科学技術をめぐる諸課題 第2章 社会や文化にかかわる諸課題	資料集：P285～313 問題集：左記内容の該当ページ 配付プリントによる問題演習	18
		冬休み 宿 題	宿 題 テスト	なし	
三 学 期	1 2 3	3 学期 学 年 末 考 査	総合演習(過去問など)	センター試験・共通テストの過去問及び分析に基づいた予想問 資料集全般	18
				計 78 (2単位)	
評 価	1 2	各学期考査を基本として、ワークシートの記述内容、パフォーマンス課題などを加味したものが評価の対象となる。 評価は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価(ABC)と5段階の評定によって行う。			

教科名 地歴科
 科目名 地理探究演習β (文理系自由選択)
 対象 6学年 選択者

I 学習到達目標

- 1 5年次に学習した「系統地理学」を基礎として、演習を通じて応用力を習得する。
- 2 世界で展開される人文現象の学習を通じて大学入試に必要な「人文地理学」の基礎学力を習得する。
- 3 世界を「地域区分」し、各地域の特色を考察する「地誌」の深い理解を得る。

II 授業の進め方 (授業形態等)

- 1 「考えること」を重視しつつ、5年次に学習した知識の上に応用力を身につけさせる。
- 2 教科書と補助教材に加えて様々な資料を活用して、複眼的に世界をとらえる能力を身につけさせる。
- 3 大学入試に必要な知識・技能を講義と様々な演習を通して身につけさせる。

III 教科書・補助教材

教科書 「地理探究」二宮書店 「新詳高等地図」帝国書院
 補助教材 「地理統計Plus」帝国書院 新詳地理資料「COMPLETE 2024」帝国書院
 「大学入学共通テストへの道 地理」山川出版社 「地理統計要覧2026年版」二宮書店

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容		
一 学 期	4		第1章 地域区分 P190～195	「大学入学共通テストへの道 地理」 P56～63	12
	5		第2章 東アジア P196～229 東南アジア 南アジア		
	6	1学期 期 末 考 査	第2章 西アジア・中央アジア P196～229	「大学入学共通テストへの道 地理」 P64～69	20
	7		アフリカ P238～244		
	夏 期 講 習		演習「自然環境」「農林水産業」「エネルギー・鉱工業」「人口・都市」「宗教・人種・民族」「貿易・観光・交通」		
二 学 期	9		第2章 ヨーロッパ P248～262	「大学入学共通テストへの道 地理」 P70～87	12
	10		アングロアメリカ P264～270		
	10	2学期 期 末 考 査	第2章 ラテンアメリカ P272～280	過去問題による演習	18
11	オセアニア P282～290 日本地誌・GIS P294～314				
	12		弱点分野の問題演習		
	冬 期 講 習		弱点分野の問題演習 (個別対応)	過去問題による演習	
三 学 期	1	3学期 学 年 末 考 査	弱点分野の問題演習	過去問題による演習	16
	2		問題演習		
	3				
				計 78 (2単位)	
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・各学期期末考査の得点とノート、プリント、その他課題を評価の対象とする。 ・評価は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価(ABC)と5段階の評定によって行う。 ・評価物はいずれも上記の観点別評価で行う。 				

教科名 公民科
 科目名 政治・経済演習（自由選択）
 対象 6学年 理系選択者

I 学習到達目標

- 1 民主政治の基本原則とその重要性を理解し、現在における民主政治の課題を追究し考察できる力を培う。
- 2 日本国憲法を尊重し、よりよい国家・社会の形成者として行動するための公民的資質を養う。
- 3 日本の政治のしくみや現代政治の諸課題を理解し、日本国民としての責任と自覚に対する認識を深める。
- 4 現代社会の諸課題(国際政治・国際経済)についての問題意識を高め、論理的な解決方法を思索できる思考力を培う。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 政治や経済の基礎的事項・概念・理論に対する理解を、講義・協働学習・演習により定着・深化させる。
- 2 政治や経済にかかわる現代の諸課題について、知識・概念・理論を活用して論理的に思考する力を養うため、単元ごとの課題学習（ミニレポート）に課す。
- 3 経済分野の学習を先に行う。政治分野については2学期以降に学習するが、夏期講習において先取りの講習を行う。

III 教科書・補助教材

教科書 「高校政治・経済」実教出版
 補助教材「最新政治・経済資料集 2026」第一学習社
 補助教材「チェック&演習公共、政治経済」数研出版

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容 副教材・その他の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題	宿 題 テスト	なし		
	4	1 学期 中 間 考 査	第2編 現代日本の経済 第1章「経済社会の変容」 P82～89 第2章「現代経済のしくみ」 P90～121	資料集: P124～192 問題集や配付プリントによる問題演習	12
	5		第3章「現代経済と福祉の向上」 P122～173 第2部 グローバル化する国際社会の諸課題 第2章「世界経済と日本」 P202～235	資料集: P193～251, 322～371 問題集や配付プリントによる問題演習	18
	6	1 学期 期 末 考 査			
7					
	夏休み 宿 題	宿 題 テスト	・共通テスト対策中心の夏期講習を行う。		
二 学 期	9	2 学期 中 間 考 査	第1編 現代の政治 第1章 「民主政治の基本原則」 P6～21 第2章 「日本国憲法の基本的性格」 P22～49	資料集:P4～74 問題集や配付プリントによる問題演習	12
	10		第3章「日本の政治機構」 P50～69 第4章「現代日本の政治」 P70～81 第2部 グローバル化する国際社会の諸課題 第1章「現代の国際政治」 P174～235 第3章「国際社会の諸課題の探究」 P236～247	資料集:P75～123, 252～231 問題集や配付プリントによる問題演習	18
	10	2 学期 期 末 考 査			
	11				
	冬休み 宿 題	宿 題 テスト	なし		
三 学 期	1	3 学期 学 年 末 考 査	総合演習(過去問など)	センター試験・共通テストの過去問及び分析に基づいた予想問資料集全般	18
	2				
	3				
				計 78 (2単位)	
評 価	<ol style="list-style-type: none"> 1 各学期考査を基本として、プリント提出、作業課題などを加味したものが評価の対象となる。 2 評価は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価（ABC）と5段階の評定によって行う。 3 評価物はいずれも上記の観点別評価で行う。 				